

3千円を超す日本最高峰の稜線をつないで 白峰三山

実施日 2016年8月12日(金)～14日(日)

天候 晴れ

リーダー 瀧澤 きよの

参加者 白石恵美子、中村友子、濱田優美子、瀧澤きよの 計4名

費用 JR ¥2,980 (高尾駅起算) 車 ¥5,160 白根御池小屋 ¥8,700 農鳥小屋素泊 ¥5,500

タイム 8/12 甲府駅(9:00) 広河原 (10:59~11:15) 白根御池(14:15) 泊

8/13 白根御池(5:35) 北岳肩の小屋(8:35~8:50) 北岳(9:40~10:05) 北岳山荘(11:20~11:35) 中白根岳(12:15~12:25) 間ノ岳(13:45~13:55) 農鳥小屋(15:15) 泊

8/14 農鳥小屋(3:20) 西農鳥岳下(4:40) 西農鳥岳(4:50~5:00) 農鳥岳下(5:30~5:45朝食) 農鳥岳(6:05~6:15) 大門沢分岐(7:00~7:10) 大門沢小屋(10:00~10:20) 第一発電所(13:15) 奈良田里温泉 (13:50~15:22) 広河原(16:05~16:40) 甲府(18:30)

8 / 1 2 山の日が制定され、夏休み連休2日目甲府駅前工事で2番線に登山客のザックが整列しています。天気の中こぶし会始めて、強くて美しい女性

4人が広河原行きのバスに乗り約2時間広河原は閑散としています。ガスがかかり北岳は、見えません。野呂川の吊り橋を渡り、大樺沢左岸を登る。大樺沢二俣分岐から右木の根っこ階段と、急登を2時間半白根御池到着。テント場は賑わっています。小屋は8人部屋に3人とのびのびです。

8 / 1 3 今日も快晴。御池から右の草滑りを登ります。約500メートルのジグザグの直登をフ-ロやリンドウ、イワギキョウが慰めてくれます。小太郎尾根稜線を見、小さな幾つかのコブを超えると、北岳肩ノ小屋です。目の前の北岳がまぶしい。肩の小屋の左側の脇を通過し急登で北岳山頂です。



ガスがかかり富士山は見えませんが鳳凰三山、甲斐駒方面を見、記念写真を撮り、右の岩稜を巻き急下降八本歯コルと合わせて北岳山荘。綺麗な小屋です。緩めの登りから一気に急登で中白根岳です。先を急ぎます。

間ノ岳へ岩稜のアップダウンの繰り返しで間ノ岳です。広い下りハイマツの前に7羽のライチョウと遭遇。写真撮影です。



ザラバの下り、岩稜を巻き少し登った所が農鳥小屋3時15分到着。小屋の親父さんに「いらい、へろへろだな-」と水汲み30分で行くからと、小屋の中で食事作りなど何と優しいではないか。

8時就寝。

8 / 1 4 3時過ぎ起床。今では珍しいボットンのトイレともサヨナラ。ヘッドライトを装着。そこへ親父さん「行くのか。気をつけてな。」農鳥小屋の親父さんは優しかった。

ヘッドライトを頼りにゆったり道から急登を登り岩稜を右に巻きハラハラドキドキしながら登り着くと要約空が白みかかり、稜線が見えてきました。



西農鳥岳下でヘッドライト着脱寒いので雨具装着。

わずかで山頂。ご来光は見れず残念。雲海が美しい。寒いし早々に農鳥岳へ。岩稜を登り農鳥岳。山頂は富士山の頭を見、昨日の北岳、間ノ岳、塩見岳等々見飽きません。楽しい稜線歩きです。

下降し鐘を吊るした遭難碑の大門沢下降点道標に到着。花畑、ダケカンバへ樹



林帯の急下降。昨日の救助へりはこの下りで滑落したらしい。と教えてもらう。クワバラ。クワバラ。

岩稜、木の根っこの急下降を繰り返して大門沢の河原に下り立つ右岸の樹



林帯の下り。沢沿いに下り大門沢小屋です。樹林帯のアップダウンの繰り返し

で小尾根を越え、小コウモリ沢、本流を吊橋で3回渡り発電所に車道に広河内橋30以上県道を歩き奈良田里温泉で汗を流し反省会。南アルプスは豪快で歩きがいがありました。皆さんに助けられ無事完歩出来ました。ありがとうございました。

(記&

写真・瀧澤きよの)
(写真提供・中村 友子)

